

○はじめての樹木ウォッチング—夏編—

1. 日 時：2020年8月30日（日） 10:00～12:00 天気 晴れ
2. リーダー： H ききみみメンバー： 3名
3. 参加者数：大人 2名 子供 0名 対象者：高校生以上
4. ねらい：主に葉を中心に観察する。ファール顕微鏡を使って、葉の毛の様子をじっくり観察する。
5. 活動場所：工作室、ナンバーツリーのコース、
6. 活動内容：葉を採取し、顕微鏡で葉の毛を観察する。毛の様子をスケッチする。

時間・場所	内 容
10:00	・スタッフの自己紹介 ・参加者の自己紹介 ・全体の流れの説明
10:05	・葉について資料を見ながら説明する。 ・事前に採取した葉①（見本）を観察する（タカノツメ、マルバアオダモ、ヒノキ） ・ナンバーツリーの樹木一覧を説明する。
10:25	・外に出て、ナンバーツリーを観察する。 ・各自、葉を1枚採取する②。 （主に、アキグミ、アカメガシワ、ミヤマガマズミ、ガマズミ、ムクノキ、アキニレ、エノキ、ガンピ、ネジキ、アカマツ、クロマツ、ケヤキ）
11:30	・工作室に帰り、採取した葉の毛をファール顕微鏡で観察する。（顕微鏡の使い方） 毛の様子をスケッチする。
11:50	・まとめ
12:00	（アンケートに記入し、解散）

7. ふりかえり
 - ・準備が大変だっただろう。
 - ・顕微鏡を使って、植物の他の一面が見られた。
 - ・ヒノキの葉が十字対生だということがよくわかった。
 - ・参加者の目が輝いていた。
 - ・屋外での観察も、室内で採取した葉の観察も良かった。
 - ・顕微鏡を使ってよかった。
 - ・参加人数が少なかったので、説明をしっかりと聞くことが出来た。
8. リーダーの感想
 - ・今回は“葉の毛“をしっかりと観察することに重点を置いた。
 - ・観察方法として、顕微鏡を使った。
 - ・参加者が一生懸命に顕微鏡をのぞき、スケッチしていた。
 - ・アキグミの鱗状毛やガマズミの星状毛、クロマツの気孔帯などに特に興味を持っていた。
9. その他（資材・配慮など）
 - ・事前に採取した葉①（見本）、採取した葉②を入れる袋、ナンバーツリーの樹木一覧、ファール顕微鏡、毛のスケッチ用紙